



大曲中学校区

小中一貫だより

2021年8月30日

発行者 生徒指導部

夢に全力を尽くす姿はカッコいい！

猛暑続きだった夏休みが明け、2学期が始まって2週間経ちました。夏休み中には、東京オリンピックのニュースが連日報じられていました。コロナ禍での開催には以前から賛否両論でしたが、アスリートたちの限界に挑戦する姿は、賛否の立場を超えて心に響くものがあったのではないのでしょうか。中でも、新種目のスケートボードで中学生を含む10代の選手たちが躍動する姿は、小中学生の皆さんにも大きな刺激になったことと思います。やはり、夢中になれるものがあって、そこに全力を尽くす姿は、年齢を問わずカッコいいと感じさせられます。

現在、全国で人気急上昇中のスケボーですが、愛好者たちは安心して心おきなく楽しめるパークが少ないという悩みを抱えているそうです。大曲地区でも、遊びやすい公園やオープンスペース等の限られた場所に集まっている人たちの姿を見かけます。その多くがマナーを守って遊んでいる一方、一部の人の様子を見て地域から学校に苦情の電話がきていることも事実です。具体的には…

- ・大音量で音楽をかけながら遊んでいてうるさい。
- ・飲食後のゴミを散らかしたまま帰っていくので、町内会でかたづけられない。
- ・遊んではいけない場所（私有地などの入ってはいけない場所）で遊んでいる。
- ・マスクもせずに密になって遊んでいる。大きな声も出しており、コロナへの感染が心配。
- ・夜遅くまで遊んでいる。帰宅時間が守られていないのではないかな。

といったものです。これらのほとんどは、スケボーには直接関係ないものなのです。しかし、「スケボーをしている人たちが…」というイメージが先行して、スケボーそのものが悪者になりかけている現実があります。これでは、ルールを守っている人たちも、気持ちよく遊べなくなってしまいます。



大曲小学校、大曲東小学校、大曲中学校には、合わせて1400人を超える子どもたちがいます。習い事や少年団、部活動、クラブチームで活躍している人も多く、中には剣道やゴルフ、民謡、リコーダーなどで全国レベルの大会に出場している人もいます。また、その他にも目の前の好きなことに夢中になって取り組んでいる「カッコいい」人たちがたくさんいます。

これから迎える芸術の秋、スポーツの秋。コロナ禍ではありますが、趣味でも何でも、「夢中になれる」「全力になれる」何かを探してみてください。きっと心が前向きになるはずです。

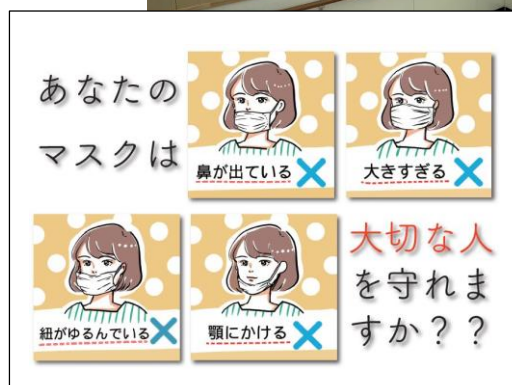
同時に、そこに打ち込める環境を大切にしてください。ルールやマナーを守る、周囲への思いやりの心をもつ…今よりももっとお互いが気持ちよくすごせるようになることを願っています。

お互いの安心・安全を守るためのマスク着用

第5波と言われる新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、北海道に再び緊急事態宣言が出されてしまいました。現在広まっているデルタ株は子どもたちへの感染事例も多く、学校内での感染予防対策がこれまで以上に重要となってきています。

3密回避や手指消毒・手洗いの徹底と合わせて有効だとされているのが、マスクの着用です。秋が近づいてきたとは言え、まだまだ暑い日が続いていますので外したくなる気持ちはわかりますが、自分への感染予防はもちろん、相手への安心という意味でも、正しく着用してください。

なお、マスクをしていることにより、極度の息苦しさ、めまい、熱中症のような症状等が出た場合には、柔軟に対応しますので、無理をせずに先生へ相談してください。



今週は家庭学習強化週間

～9月2日はノーメディアデー～

今週は、中学校の定期テスト（9月3日）に合わせて、今年度2回目の家庭学習強化週間となっています。家庭学習のポイントは、4月に配付した「大曲中学校区 家庭学習の手引き」や6月14日発行の「小中一貫だより」をご覧ください。

また、9月2日は「ノーメディアデー」です。これは、様々なメディア（スマホ、ゲーム機、テレビ、インターネット通信等）との関わりを考え、一定の離れた時間をもとという取組です。上手に活用すれば、生活が一層便利で豊かになるこれらのメディアですが、小中学生の中には、極端に依存してしまったり、好ましくない使い方をしてしまったりという問題も少なくありません。中には、帰宅してから6時間ほどの間に1,000件を超えるLINEのやりとりをしていたという事例もありました。平均すると、20秒に1回のやりとりを長時間にわたって続けていたということになります。これでは、いくら時間があっても勉強どころかプライベートな時間さえ確保できません。

一度手にした楽しい道具や便利な道具を手放すのは簡単なことではありませんが、こうした機会を活用してメディアから意図的に離れる時間を作るとともに、ご家庭でも是非、個人情報への配慮をはじめとしたネットモラルや、使用時間などのルールを再確認していただければ幸いです。



ノーメディアの時間をつくることで期待される効果

- ①集中して学習に取り組む環境をつくることできる。
 - ②メディアに触れる時間を違うものに充てることで、新しい発見のチャンスを得ることができる。
- など

大曲スタンダード：「あいさつ」「へんじ」「りつよう」「ことば」

日常の基本として、9年間の学校生活で身につけられるように取り組んでいます。ご家庭でもお声がけください。